

御製 五首

平成二年

大韓民国大統領閣下をお迎へして

さまざまの歴史を思ひ海一つ隔つる国のまれ人迎ふ

集中豪雨

この年も集中豪雨のまがにより失はれたる命惜しまる

イラク国在留邦人

外国に留め置かれたる人々の上思はれて日々を過ごしぬ

即位の礼饗宴の儀

外国のあまたまれ人集ひ来て宴の夜を語り過ごしぬ

大嘗祭

父君のにひなめまつりしのびつつ我がおほにへのまつり行なふ

第四十一回全国植樹祭

長崎県

父君の即位記念の林より育ちし苗を我ら植ゑけり

第十回全国豊かな海づくり大会

青森県

くろそいとひらめの稚魚を人々と三沢の海に共に放しぬ

第四十五回国民体育大会秋季大会

福岡県

さまざまの小旗や花を打ち振りて歩む選手の晴れやかにして

皇后陛下御歌 三首

平成二年

昭和天皇をお偲びして

セキレイの冬のみ園に遊ぶさま告げたしと思ひ覺めてさみしむ

（本歌は平成元年に詠まれました。）

明治神宮御鎮座七十周年

聖なる帝にまして越ゆるべき心の山のありと宣らしき

この御歌は、明治天皇の御製「しづかなる心のおくにこえぬべきち
とせの山はありとこそきけ」を拝してお詠みになったものです。

御即位を祝して

ながき年目に親しみしみ衣の黄丹の色に御代の朝あけ